



# 2007 大阪府 デザイン オープン カレッジ

平成19年度受講生募集のご案内

Osaka Industrial Design Center

大阪府産業デザインセンター

## ごあんない

「大阪府デザイン・オープン・カレッジ」は、昭和63年以来、様々な産業分野で活躍されている方々を対象に、より今日的なデザイン活用を支援するため、時流に合った関連情報をお届けするとともに、経営資源としてのデザイン理解の促進やデザイン開発に欠かすことのできない知識・技術を習得していただく機会の一つとして開講しています。

平成19年度は、可視化が難しい企業イメージの表現である「ブランドのデザイン」について、また、企業の取り組みとして定着した感のある「ユニバーサルデザイン」、「Webアクセシビリティ」、「エコデザイン」について、具体的な知識や手法を習得できる実践的ワークショップや現場の事例紹介を充実させています。

皆様の「大阪府デザイン・オープン・カレッジ」への積極的なご参加をお待ちしています。

平成19年4月

大阪府産業デザインセンター



ファッション動向 | 匠の技コース  
エコデザイン | デザイン発想  
ワークショップ | グラフィックデザイン

## 平成19年度 コース・スケジュール

カテゴリー	コース名	開 講 日							コース 番 号
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
デザイン 高度化	Webデザイン・ワークショップ ーWebアクセシビリティを診断するー		14 15						①
	エコデザイン・ワークショップ ー4 Rから発想するエコデザイナーー			31 1					②
	企業ブランドのデザイン					4			③
	魅力づくりのデザイン発想 ー空間演出編ー						5 12		④
デザイン 最新情報	ユニバーサルデザイン開発の最前線		6 13 20 27						⑤
	ファッション動向	14 16 23					3 10 17		⑥
デザイン特修	現代に生きる匠の技 ー歴史的建築空間に生きる匠の技ー			5 12 19 26					⑦
コンピュータ 活用技術	デジタルデザイン・クリニック				随時開講 (予約制)				⑧

1

## Webデザイン・ワークショップ —Webアクセシビリティを診断する—

Webデザインでは、誰にも分かりやすく使いやすい、そして親しみやすいサイト構築を目指すことが求められます。その際、アクセシビリティへの配慮は不可欠ですが、サイトの使い勝手の良否を実際に検証する機会は少ないものです。そこで、本コースではアクセシビリティの解説と検証実習を行います。

対象	Webデザイナー、制作者 企業内Web管理担当者等	時間	午後2時～午後5時
		受講料	6,000円（2日間）
会場	6月14日(木) マイドームおおさか4階セミナー室 6月15日(金) 大阪産業創造館5Fパソコン実習室1-2	定員	30名

Webアクセシビリティへの要求と実践的対応

6月14日[木] 講義

高本 康明 富士通株式会社 総合デザインセンター  
ユーザー・エクスペリエンスデザイン部 デザインディレクター

6月15日[金] 演習

山崎 信悟 富士通オフィス機器株式会社 関越支店 大宮営業所  
インターネットが普及し、Webアクセシビリティの重要性が高まっています。本講座では、企業や自治体の取り組みやJIS X8341高齢者・障害者等配慮設計指針の解説を中心にWebアクセシビリティを向上・維持するための要求事項を紹介します。  
※別途テキスト代が必要です。（2,500円程度）

2

## エコデザイン・ワークショップ —4Rから発想するエコデザイン—

持続可能な循環型社会における新たなものづくりの構築を目指す、（財）日本インダストリアルデザイナー協会東日本ブロック環境委員会の活動を紹介するとともに、環境政策の基本となる、4Rの考え方をもとにエコデザインのワークショップを行います。

〔別途講師との交流会（31日）を予定〕

対象	経営者、企画開発担当者 環境管理担当者、デザイナー等	時間	午後2時～5時(31日) 午前9時30分～12時30分(1日)
		受講料	6,000円（2日間）
会場	マイドームおおさか4階セミナー室	定員	30名

7月31日[火],8月1日[水] 4Rから発想するエコデザイン

浅井 治彦 有限会社アルス 代表  
明星大学造形芸術学部プロダクトデザインコース准教授  
講義：「プロと卵が発想するエコデザイン展」の成果とデザイン系大学生を対象としたワークショップの事例紹介  
演習：4R【1R：Refuse（やめる）、2R：Reduce（少なく）、3R：Reuse（再使用）  
4R：Recycle（再資源化）】に基づくエコデザイン発想実習

3

## 企業ブランドのデザインング

なぜ企業ブランドなのか。企業ブランドは、企業実体と企業イメージが重なったものです。不透明な時代だからこそ、人々は企業のブランド＝イメージに判断と行動の手掛かりを求めます。企業ブランドの理念を考え、形に表し、人々に浸透させていくプロセスと実務について、講義と演習を行います。

対象	デザイン・ブランド・商品企画・宣伝・マーケティングの担当者、経営者等	時間	午前10時～午後5時 (休憩1時間含む)
		受講料	6,000円（1日間）
会場	マイドームおおさか4階セミナー室	定員	30名

9月 4日[火] 企業ブランドの開発理論と  
ロゴマーク開発の実践

原田 進 ブラクシス株式会社 代表取締役  
講義：企業ブランドの理念、ネーミング開発、シンボルデザイン、ロゴマーク開発、事例紹介等  
演習：ロゴマーク開発の演習

4

## 魅力づくりのデザイン発想 —空間演出編—

ハイセンスでこだわりをもった都市生活者が増えています。そのような人たちを顧客に迎え入れるためには、ライフスタイルと商品をつなぐ物語づくりとしての店舗空間の演出が重要です。このコースでは、店舗空間を魅力的に演出するための発想法と表現法について、演習を通じて習得していただきます。

対象	ショップ経営者、インテリアコーディネーター インテリア系デザイナー、新規開業者等	時間	午後2時～午後5時
		受講料	6,000円（2日間）
会場	マイドームおおさか4階セミナー室	定員	30名

10月5日[金],12日[金] 空間ディスプレイを楽しく豊かにする方法

大森 あき子 有限会社大森デザイン事務所 取締役  
社団法人日本ディスプレイデザイン協会(DDA)理事  
講義(5日)：空間ディスプレイを楽しく豊かにする方法  
・空間ディスプレイをスケッチしよう  
・材料調達 アドバイス  
演習(12日)：空間ディスプレイを演出する方法  
・ディスプレイ小物の制作  
・総括（講評とみんなで評価）

## 5

## ユニバーサルデザイン開発の最前線

今やユニバーサルデザインはビジネス戦略の一つとして、また企業の社会的責任（CSR）という側面でも重要視されています。本コースでは「ビジネス戦略の一環として、ユニバーサルデザインをどのように捉え、社内体制を構築し、商品開発を行っているのか」について、先進企業より解説していただきます。

対象	経営者、マーケティング担当者 デザイナー、企画開発担当者等	時間	午後2時30分～午後5時
		受講料	10,000円（4日間）
会場	マイドームおおさか4階セミナー室	定員	30名

## 6月 6日[水] 日立グループのユニバーサルデザインポリシーと事例紹介

和田 紀彦 株式会社日立製作所 デザイン本部 ユーザエクスペリエンスリサーチセンター  
ユニバーサルデザイングループ 主任デザイナー

日立グループは、家電製品から情報サービス、公共システムにいたるまで、幅広い製品・サービスを提供しています。グループ企業全体のユニバーサルデザインを統括する上で、また、ビジネスの一環として、今後どのようにユニバーサルデザインを捉えていくか、日立グループのユニバーサルデザインの取り組みを解説します。

## 6月13日[水] オムロンのユニバーサルデザインポリシーと事例紹介

小池 禎 オムロンヘルスケア株式会社 デザイン部長

高齢社会の到来により健康への関心がますます高まり、企業としても健康管理機器の開発が促進されると同時に、ユニバーサルデザインへの対応も求められてきました。多数のヘルスケア商品を開発するメーカーの中で、ヒット商品を出しているオムロンヘルスケア株式会社のユニバーサルデザイン戦略を解説します。

## 6月20日[水] イトーキのユニバーサルデザインポリシーと事例紹介

加藤 雅士 株式会社イトーキ マーケティング本部 商品戦略部長

団塊の世代の退職を控え、様々な取り組みがなされています。一つは雇用の延長、女性の社会進出、国際化などによるオフィス環境の変化が考えられます。今後のオフィス環境のあり方を考えたとき、ユニバーサルデザインの導入は避けては通れないと思われます。オフィス家具を提供する株式会社イトーキのユニバーサルデザイン戦略を解説します。

## 6月27日[水] NECのユニバーサルデザインポリシーと事例紹介

永木 康人 日本電気株式会社 宣伝部デザイングループ グループマネージャー

高度情報社会においては、情報弱者をつくらない社会の実現が求められています。多様な人々ができる限り公平に情報を利用できる商品・サービスを提供するには、どのようなポリシーや社内体制（ガイドラインの設定等）及び開発プロセスが必要であるのか、また、ビジネスとしてどのようにユニバーサルデザインを捉えるのか、日本電気株式会社のユニバーサルデザイン戦略を解説します。

## 6

## ファッション動向

主として、繊維関連の国内外における最新ファッション情報を紹介するとともに、ファッションビジネスの新しい動きについても解説し、新商品開発や営業企画の高度化等、今後の企業戦略に役立つ情報を発信します。[最新のアパレルデザインの傾向について、モデル着装による解説も行います。]

対象	企画開発担当者、デザイナー 経営者等	時間	午後2時30分～午後5時
		受講料	12,000円（6日間）
会場	マイドームおおさか4階セミナー室	定員	30名

## 5月14日[月] 2008年春夏カラートレンド予測

柳橋 達生 T&Yデザインルーム 主宰

大阪府産業デザインセンター刊行の流行色見本帳（OIDCファッションカラー）を教材にして2008年春夏シーズンの流行色を予測するとともに、その特徴と活用法を解説します。

## 5月16日[水] ファッションビジネス最前線

—メンズにみるファッションビジネス新潮流—

中山 忠久 株式会社東急百貨店 本店メンズブティック マネージャー  
クールビズに始まり、団塊世代の退職やライフスタイルの多様化等により改めて注目を集めるメンズ市場をテーマとして、最新のトレンドや市場動向を解説するとともに、社会環境や市場の変化を踏まえた今後のファッションビジネスのあり方を考察します。

## 5月23日[水] これからの売れ筋商品を探る（春夏編）

田中 智之 デザインルームヒロセ ファッションディレクター

国内外のファッション市場の現況を紹介するとともに、2008年春夏を中心に国内市場で期待される商品サンプルをショー形式で紹介し、素材やスタイリング、ディテール等の注目点を解説します。

## 10月 3日[水] これからの売れ筋商品を探る（秋冬編）

田中 智之 デザインルームヒロセ ファッションディレクター

国内外のファッション市場の現況を紹介するとともに、2008/2009年秋冬を中心に国内市場で期待される商品サンプルをショー形式で紹介し、素材やスタイリング、ディテール等の注目点を解説します。

## 10月10日[水] ファッションビジネス最前線

—商品開発に“エコロジー”は外せない—

武本 金太郎 スタジオアルフレード 主宰

高まりをみせる環境保全意識と対応して、今後の商品開発に求められる“エコロジー”を具体事例をもとに解説するとともに、今後のライフスタイルの変化において必要となる商品のあり方を考察します。

## 10月17日[水] 2008/2009年秋冬カラートレンド予測

柳橋 達生 T&Yデザインルーム 主宰

大阪府産業デザインセンター刊行の流行色見本帳（OIDCファッションカラー）を教材にして2008/2009年秋冬シーズンの流行色を予測するとともに、その特徴と活用法を解説します。

7

## 現代に生きる匠の技 —歴史的建築空間に生きる匠の技—

造形文化に関するわが国のアイデンティティを正しく理解し、デザイン発想力の多様化をめざすため、伝統的なモノづくりに携わる名匠を制作現場に訪ね、モノづくりへの姿勢や創作プロセス、造形力、技術等を学習します。今回は、近代西洋建築物の修復保存や再利用のため伝統的な技術が活かされる事例を考察します。

対象	デザイナー、企画開発担当者 経営者等	時間	午後2時～午後5時
		受講料	20,000円（4日間） 別途、交通費が必要です。
会場	現地講習（詳細は別途ご案内します）		定員 15名

### 7月 5日[木] 歴史的建造物の活用と意義

「マイドームおおさか4階セミナー室にて講習」

**巖 文成** 国土交通省 近畿地方整備局 京都営繕事務所 所長

赤れんが東京駅舎を復元し、周辺を再開発するプロジェクトが注目を集めています。歴史的建造物の多様な活用は、まちに新たな魅力を生み出すキーワードとなるのでしょうか。海外では産業により残された個性的な工場・倉庫や工作物のデザインをまちづくりに活用しています。公共建築物や海外事例を紹介しながら、歴史的建造物の保存活用について意義と課題を探ります。

### 7月12日[木] 近代西洋建築の再生に活かされる匠の技

「京都市内にて現地講習」

**鶴岡 典慶** 京都府教育庁 指導部文化財保護課 文化財専門技術員

明治27年神学館として竣工され、平成15年1月から平成19年12月まで保存修理工事を行っている同志社クラーク記念館を訪れ、半解体調査によって解明された当時の工法や素材を紹介するとともに、耐震補強や修復の過程、素材等を解説します。

### 7月19日[木] ステンドグラスに生きる匠の技

「奈良市内にて現地講習」

**河原 清** スタジオ川清 代表、日本ステンドグラス協会 理事

**三宅 治良** ステンドグラススタジオ三宅 代表、日本ステンドグラス協会 理事  
西洋建築の重要な要素となるステンドグラスの制作工房を訪ね、ステンドグラスの制作工程や素材について解説します。

今回は、明治時代にヨーロッパ留学して技法を学んだ日本人の感性と技法を今に受け継ぐ職人によって、伝統的な工法や材料、修理方法等を解説します。

### 7月26日[木] 金物に生きる匠の技（仮題）

「京都市内にて現地講習」

人選中

手作りによる少量生産品、特注品の制作工程を見学します。

今回は、寺社や西洋建築に使われる金物を手掛ける工房を訪ね、その製造工程を解説します。

8

## デジタルデザイン・クリニック

ホームページやマルチメディアコンテンツ制作、デザイン開発における2次元CG（コンピュータ・グラフィックス）等のコンピュータを活用したデジタルデザイン全般に関して随時相談を受け、設備機器を活用して、個別に具体的な問題解決・相談に応じます。〔予約制のため事前にお問合せください。〕

対象	デザインワーク、コンテンツ制作等にコンピュータを活用をされる方	時間	随時 原則として午前10時～午後5時
		受講料	2,000円（1時間当たり）
会場	大阪府産業デザインセンター コンピュータ室		定員 原則1名

#### ■ クリニック項目例

- ①マルチメディアコンテンツ制作関連  
ホームページデザイン、Flash等の基礎体験
- ②2次元CG関連  
Illustrator、Photoshopの基礎体験
- ③その他 可能な範囲でご相談に応じます。



## お申込み

次のいずれかの方法で、「大阪府産業デザインセンター オープン・カレッジ係」宛て、お申込みください。

4月9日(月)から先着順に受付け、定員に達し次第締切ります。

### FAXで・・・ (06)6949-4792

別添の「受講申込書兼Eメール登録申込書」に必要事項をご記入の上、お送りください。(なお、申込みは郵送でも受け付けております。)

### ホームページから <http://www.pref.osaka.jp/oidc/>

当センターホームページ内の「大阪府デザイン・オープン・カレッジ受講生募集のご案内」からお申込みください。

### Eメールで・・・ [info@oidc.jp](mailto:info@oidc.jp)

受講されたいコース名、氏名、会社名、所属部署名、所在地、電話番号、FAX番号、メール登録希望の有無をご記入の上、「大阪府産業デザインセンター オープン・カレッジ係」宛て発信してください。

折り返しFAX等で受講票をお送りしますので、受講当日ご持参ください。なお、定員を超えたため、受講していただけない方には、電話等でご連絡いたします。

- デジタルデザイン・クリニックは随時受付けていますので、下記までお問い合わせください。
- 受講料は各コースの受講初日に、会場受付で、現金にてお支払いください。(受講料に消費税は含まれています。なお、納入された受講料は返金できませんのでご注意ください。)

## お問合せ

大阪府産業デザインセンター オープン・カレッジ係

TEL (06)6949-4791 FAX (06)6949-4792

## 会場案内

地下鉄堺筋線・中央線＜堺筋本町駅＞下車①⑫番出口より東へ徒歩7分  
地下鉄中央線・谷町線＜谷町四丁目駅＞下車④番出口より西へ徒歩7分



大阪府産業デザインセンター

(大阪府商工労働部 商工振興室 ものづくり支援課分室)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか4階 TEL(06)6949-4791

〒595-0025 泉大津市旭町22-45 テクスピア大阪2階 TEL(0725)33-8810